

平成30年度

自己点検・評価報告書



2019年7月

学校法人 YIC学院  
YIC保育&ビジネス専門学校

## まえがき

YIC保育&ビジネス専門学校がスタートしてから、昨年ITビジネス学科が4期生、この4月にこども学科の4期生が巣立っていきました。現在それぞれの職場で活躍の場を拓いていることと思います。残念ながらITビジネス学科は昨年姉妹校に統合されました。こども学科も現在の6期生が卒業する2021年3月をもって終了することが決まっています。しかし学生が在籍している間は「おっぱい都市宣言」をしている光市と手を携えながら、今後もさらに学びを充実させていきたいと思っています。

本校では「地元で学んで地元で就職し、地域の発展に貢献する」ことを目指す若者に、専門学校ならではの実践的でワンランク上のカリキュラムに沿った教育を実践しています。専門的な知識だけでなく、豊かな人間性を身につけた人材の育成にも努めています。

そのような方針のもと自己点検と自己評価を重ねながら着実な歩みを進めていますが、自己満足にならぬよう外部評価も取り入れています。卒業生を受け入れていただく職場や卒業生も含めた委員の皆様から忌憚のないご意見をいただくことで、教育の内容をより一層深化させていきたいと思っています。

ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和元年(2019年)7月

学校法人YIC学院 YIC保育&ビジネス専門学校

校長 須内 章雅

平成30年度 自己点検・評価結果

項目の重要度ランク Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須) Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標 Cランク:理想的な姿(努力目標)
評価基準 ◎:出来ている。 ○:ほぼできている。 ×:実施できていない。

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		重要度 ランク	評価	実施状況	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	◎	学生便覧、パンフレットに掲載。
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	◎	教職員手帳(経営計画書)に掲載。
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP・パンフレット・募集要項等)	B	◎	パンフレット、HPに掲載。
	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	C	◎	学生便覧などに明示している。
評価の根拠 改善内容および課題	明文化し、学校パンフレット、ホームページ、学生便覧等に掲載している。 教育目的・目標・教育計画については学生便覧に文書化・提示されている。				
2 教育の内容		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	◎	学生便覧(別表)に掲載。
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	◎	H27年度より教育課程編成委員会を設置し関係者の意見を取り入れている。校内においても複数のメンバーで作成している
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	◎	カリキュラム作成メンバーは複数の内部職員で構成。
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	◎	教育課程編成委員会を設置し、関係者の意見を取り入れている。カリキュラム改訂時に委員会の内容を反映した。
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	◎	作成済み。
	6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	○	科目の開始時に説明している。年度開始時に配布するよう改善する予定。
	7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	○	必ずしも授業開始前までに提出されていないが、授業後には全て提出され、とりまとめている。
	8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	×	無し。今後整備の予定。
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	◎	前期末、後期末それぞれに全科目について実施。
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	×	面接は実施していない。
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	○	教授法改善の研修実施(グループ校全体)。授業評価に基づいたものではない。
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	○	授業観察を実施しているが、結果に基づいたものではない。
	13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	C	×	作成していない。今後、作成するように取り組む予定。
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	×	改善活動は行われていない。
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	○	姉妹校への授業見学などYICグループとして行っている。

2 教育の内容		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、 育成人材像に向け業 界ニーズに対応した 付加的教育の取り組 みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	◎	保育実習、幼稚園実習として実施。
	17	キャリア教育などを行っているか。	C	◎	授業科目の一環として実施している。
	18	ビジネス教育を行っているか。	C	◎	授業科目の一環として実施している。
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	C	◎	授業科目の一環として実施している。
	20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	C	×	未実施。
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	○	こども学科においては、短大との教育連携を実施し幼稚園教諭免許の取得を行っている。
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	◎	個別の行事(光まつり、おっばいまつり、梅まつり)などでの連携を行っている。
各学科の教育目標、 育成人材像に向け教 員の資質維持や向 上に向けた取り組み がされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	○	事業計画書に基づき年度当初研修計画を立案しているが、精査必要。
	24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	○	グループ校全体での研修を実施。専門性向上のための内部研修不十分。
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	◎	グループ内の企業主導型保育所へ研修に派遣し、専門性の向上につなげている。
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	×	平成30年度は支援していない。
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。 (ミーティング・報告書・教務日誌等)	B	×	その都度、口頭で情報共有をしているが、全体での定期的なミーティングは未実施。
評価の根拠 改善内容および課題	シラバスが作成されているが、授業後に作成する科目がある。それに伴い本校のカリキュラムまた、一コマの授業に対する授業シラバスは作成していない。2019年度より、保育士養成課程および幼稚園教諭養成課程が見直され、本校のカリキュラムも新たになるので、これを契機に改善していきたい。グループ内の企業主導型保育所へ教員を派遣したことにより、企業主導型保育所の業務を体験でき、学生の就職指導などに活かされる研修となった。教職員の研修については、年間計画および個人計画(今後のキャリアパスを想定した複数年にわたるもの)の整備ができていない。各教職員の育成計画に基づく研修計画の立案が必要である。				

3 教育の実施体制		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 教育環境が整備・活 用されているか	1	組織機能図があるか。	A	◎	校務分掌表に組織、機能を記載している。
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	◎	年間行事予定表にスケジュールを記載している。
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	◎	図書室を設置している。
	4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	C	◎	図書室内の図書については自由に閲覧できるようにしてある。
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	◎	専用の部屋(2階カウンセリングルーム)を設置している。
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	◎	学生便覧に記載している。
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	◎	光市のごみ分別マニュアルに従い、分別に沿ったゴミ箱の設置およびその掲示がなされている。
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	◎	学生便覧に記載。各教室に清掃について分担表・方法を掲示。
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。	B	◎	YICグループの環境整備のルールに基づき定期的に管理・点検している。
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	○	実習契約書にて文書化されているが、契約書を交わしていない実習先もある。
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	◎	全員学生災害保険、インターンシップ活動賠償責任保険に加入。
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	◎	専門業者による定期的な点検と報告書の作成を実施している。
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	◎	YICグループの環境整備のルールに基づき定期的に管理・点検している。
評価の根拠 改善内容および課題	<p>図書室を設置しているが、図書の貸し出しについては未整備の状態。希望者に貸し出しできるように、運用ルールを作成したい。</p> <p>学内の、整理・整頓・清掃に関しては、YICグループが推進している環境整備活動により管理・チェックされている。</p> <p>学内外実習時の安全対策に関しては、実習契約書をすべての実習先と交わすように改善していく。</p>				

4 教育目標の達成度と教育効果		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて その達成への取り組 みと評価がされてい るか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	◎	目標を設定している。
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	◎	経営計画書、学科計画および学科会議にて共有。目標とする進路決定率100%
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	◎	就職セミナー報告書、入社試験報告書が担任により保管されている。
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	毎月、学科会議を実施し、各学生の就職動向を報告検証している。
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	B	◎	就職実績をパンフレット、HPで公開している。出身高校へも <b>掲示用資料を持参し</b> 、個別に報告している。
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	◎	事業計画書、学科計画に年次目標として設定。保育士・幼稚園教諭全員取得
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	事業計画書、学科計画として作成しており、教職員間で共有されている。
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	学科会議、経営会議にて検証・報告されている。
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	◎	HPの情報公開にて、 <b>保育士・幼稚園教諭取得状況を公表している。</b>
	10	退学率の目標を設定しているか。	A	◎	事業計画書、学科計画にて年次目標として設定。目標:休退学者0
	11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	学科計画、学科会議にて共有している。
	12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	退学者については、経過報告書を作成し、退学原因、経過について記録を残している。
	13	退学者数を公表しているか。	C	◎	HPの情報公開にて、 <b>保育士・幼稚園教諭取得状況を公表している。</b>
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	◎	同窓会名簿に記録している。
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C	◎	パンフレット、HPで公開している。
	16	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	C	○	概ね把握をしている。
	17	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	C	×	未公開
評価の根拠 改善内容および課題	<b>保育士資格、幼稚園教諭2種免許の取得率はHPの情報公開の中で公表している。</b> 卒業生(同窓生)の1年後の就業状況に関しては、学校から能動的に把握していきたい。				

5 学生支援		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	◎	募集パンフレットに明示されている。
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	◎	募集パンフレットに明示されている。
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	◎	募集要項に明示されている。
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	◎	募集要項に明示されている。
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか。	A	◎	電話・HP・OCや相談会などからの問い合わせに対する体制ができています。
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	◎	行っている。
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	C	○	入学前オリエンテーションは実施したが、入学前学習は実施していない。
	8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	◎	入学時オリエンテーションにて行われている。
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(在学中)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	◎	入学直後など、年2回以上行っている。
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	◎	校内に産業カウンセラー、グループ校にキャリアコンサルタントが在籍している。
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	◎	YIC総合サポート室にキャリアコンサルタント、看護師が在籍している。
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	○	YIC総合サポート室に窓口があるが、完全には周知されていない。
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C	◎	YIC総合サポート室在籍の看護師、産業カウンセラーと教職員の面談可能。
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	◎	個人面談記録表に記入・保管。
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	◎	毎年4月に実施。
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	◎	公的奨学金の他、YICグループの学費サポート制度が有る。
17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	◎	計画的な個別面談を行っている。	
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	◎	同窓会がある。
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	◎	本人からの依頼により対応している。
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	×	実施していない。
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	○	定期的ではないが、訪問を実施し、卒業生の状況を把握している。
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	○	HPにて情報を知らせている。
上記以外を通じての 学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	×	無い。
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C	×	無い。
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	◎	学校のHP、ツイッター、校長だよりにて学校の様子等を知らせている。
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	◎	学校のHP、ツイッター、高校訪問にて学校の様子等を知らせている。
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	◎	学校のHP、ツイッターにて学校の様子等を知らせている。
評価の根拠 改善内容および課題	入試～入学までの基本的な体勢は整っている。入学前の学習支援については目標設定、実施、結果の測定に至る一連の流れを整備していく必要がある。学生に対するメンタルサポート体制があり、活用されているが、教職員の相談に応じる体制も周知させていく。				

6 社会的活動		重要度 ランク	評価	実施状況	
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか。	C	◎	地元自治体などの行事に計画的に参加した。
	2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟をしているか。	B	◎	山口県専修学校各種学校協会、光商工会議所に加盟している。
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	○	極力参加している。
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	◎	県委託の認可外保育施設等の職員への研修や、高校へ出張講座を実施。子育てひろば「きらり」を開放。
	5	社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	C	◎	授業の一環として地域行事などへの参加を行っているおり、単位認定している。
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	×	平成30年度は未実施。
評価の根拠 改善内容および課題	光まつり、おっぴまつり、梅まつりなどの光市の行事に積極的に参加し、学内の子育てひろばの開放も行った。地域の方に喜んでもらえるとともに、学生の成長にもつながっている。また、高等学校へ出張講座や、YICグループの多々良幼稚園での1日せんせい体験を実施し、保育士の仕事、魅力などについて伝えた。さらに平成30年度は県からの委託を受け、認可外保育施設等の職員を対象に事故防止に関する研修を行った。今後も、社会的活動に積極的に取り組みたい。				
7 管理運営		重要度 ランク	評価	実施状況	
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に開催されているか。	A	◎	年2回定期開催。その他必要に応じて招集。
	2	評議員会が定期的に開催されているか。	A	◎	年2回定期開催。
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	×	外部への公開はしていない。
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	B	◎	月1回職員会議および学科会議を実施。
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	◎	校務分掌に記載している。
	6	決裁規程が文書化されているか。	B	○	文書化されているが、詳細は未整備。
	7	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A	○	防災規定、防火管理規定はある。
	8	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A	○	防犯対策に対して不十分、組織化されていない。
	9	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	◎	避難訓練を年1回実施している。
	10	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	◎	明文化している(YICグループのプライバシーポリシー)
	11	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B	◎	YICグループ全体のハラスメントの防止に関する規定がある。
	12	公印管理簿があるか。	B	◎	有る。
	13	出退勤管理簿があるか。	A	◎	有る。
	14	受信・発信簿があるか。	A	◎	有る。
	15	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	C	○	研修会派遣を行っているが不十分。
	16	教職員の健康診断がされているか。	A	◎	毎年4月に実施している。
評価の根拠 改善内容および課題	基本的な管理運営体制は整っている。防災対策は火災等への対応について対策を行っているが、防犯面での強化が必要である。				



8 財務		重要度 ランク	評価	実施状況	
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算・中期計画が策定されているか。	A	◎	計画している。
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	B	◎	毎月1回経営会議にて執行状況が確認されている。
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	B	◎	毎月会計士による監査 毎年度監事による監査報告
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	B	◎	学校へ報告されてる。
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A	◎	出来ている。
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	B	◎	備品管理規定がある。
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	C	○	YICグループの標準規定として図書管理規定がある。
	8	物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか。	B	◎	担当者が行っている。
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A	◎	エレベータ、電気設備など保守、管理を定期的に行っている。
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B	◎	2社以上の見積もりを基本としている。
評価の根拠 改善内容および課題	<p>予算計画・執行、会計の面では公正に処理されている。  図書管理についてはYICグループの標準規定が存在しているが、規定通りの運用がなされているとは言えない。改善の余地がある。</p>				
9 改革・改善		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 自己点検・評価活動 の実施体制が確立し て改革・改善のため のシステム構築がさ れているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	◎	学校機能評価規定により文書化
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	◎	校務分掌で委員会を設置
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	○	学校として委員会を組織しているが、必ずしも活発な活動とはなっていない。
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A	◎	職員会議で自己点検評価委員会の必要性を説明している。
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	×	共有する機会を設けていない。
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	○	こども学科では、平成29年度入学生を対象に教育課程の見直しを実施し、平成31年度入学生対象の見直しも行った。結果の検証が不十分。
	7	自己点検・評価報告書があるか。	B	◎	有る。
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	◎	学校HPにて公開している。
評価の根拠 改善内容および課題	<p>自己点検・評価に関して、平成26年度より委員会を設けていたが、委員会の活動は必ずしも活発ではない。特に全教職員で共有することが不十分であった。しかしながら、こども学科については、教育課程編成委員会の提案を受け、H29年度入学生を対象に教育課程の見直し、平成31年度入学生対象の見直しを行った。見直し後、授業評価を行ったが検証が不十分。今後も、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会にて評価・改善の意見を参考に計画的な改善に結び付けていく必要がある。本自己点検・評価結果についてはHPで公表する。</p>				